



指揮

小林研一郎  
[桂冠名誉指揮者]

# 第九 特別演奏会 2025

指揮

出口大地

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

12/20 田 14:00 サントリーホール  
12/21 田 14:00 横浜みなとみらいホール  
12/23 四 19:00 東京芸術劇場  
12/27 田 14:00 東京芸術劇場  
12/28 田 14:00 東京芸術劇場

オルガン：石丸由佳\*  
ソプラノ：小川栞奈  
メゾソプラノ：山下牧子  
テノール：錦織 健  
バリトン：寺田功治 (12/20-23)  
青山 貴 (12/27, 28)  
合唱：東京音楽大学 (12/20, 21)  
武蔵野合唱団 (12/23)  
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/27, 28)

メンデルスゾーン：オルガン・ソナタ第1番  
op.65 より II. アダージョ

パッヘルベル：クリスマス・コラール  
《高き天よりわれは来たれり》

J.S. バッハ：トッカータとフーガ  
ニ短調 BWV565

(以上3曲オルガン独奏\*)

ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

指揮：出口大地

12/13 田 15:00 横浜みなとみらいホール  
[第413回横浜定期演奏会]  
12/14 田 14:00 サントリーホール

ソプラノ：砂田愛梨  
メゾソプラノ：山下裕賀  
テノール：石井基幾  
バリトン：高橋宏典  
合唱：東京音楽大学 (12/13)  
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/14)

ウェーバー：歌劇《オベロン》序曲  
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

好評  
発売中

料金

S席 ¥10,000 A席 ¥9,000

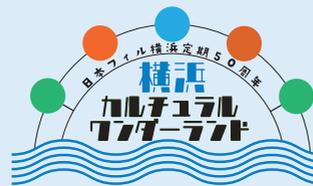
B席 ¥7,500 C席 ¥6,000

P席 合唱団

Ys (25歳以下) 席 ¥4,000

Gs (70歳以上) 席 ¥6,000 (12/13除く)

※ 12/14、20、21、27、28 残席僅少!



人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邊 暁雄 —

日本フィルハーモニー交響楽団  
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第412回

# 横浜定期演奏会

412th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年11月22日(土) 午後3時開演

横浜みなとみらいホール

3:00pm November 22nd (Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援：神奈川新聞社、+vkk(テレビ神奈川)

協力：横浜みなとみらいホール

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

# 70周年記念特別定期演奏会 横浜定期演奏会

12/11  
発売!

## 横浜みなとみらいホール 土曜 15時開演

### 第416回 2026年4月25日

尾高忠明と前橋汀子——円熟の輝きが舞台を満たす  
指揮:尾高忠明 ヴァイオリン:前橋汀子  
ディーリアス:楽園への道(歌劇《村のロメオとジュリエット》より)  
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲  
シベリウス:交響曲第5番

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,500 C¥5,500 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第417回 2026年5月9日

小林研一郎と小山実稚恵、この二人だからこそ叶う「楽興の時」  
指揮:小林研一郎(桂冠名誉指揮者) ピアノ:小山実稚恵  
ベートーヴェン:《エグモント》序曲  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第418回 2026年6月27日

盟友と紡ぐブルッフのロマンと勝利のベートーヴェン  
指揮:広上淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]  
ヴァイオリン:ボリス・ベルキン  
モーツァルト:歌劇《劇場支配人》序曲  
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番  
ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第419回 2026年7月4日

情熱と色彩が彩る、ドラマティックで美しい音楽の旅  
指揮:西本智実 ピアノ:實川 風  
サン＝サーンス:歌劇《サムソンとデリラ》より「バッカナール」  
グリーグ:ピアノ協奏曲  
チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,500 C¥5,500 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第420回 2026年9月19日

ラザレフのラフマニノフ! 濃密な音楽世界を  
指揮:アレクサンドル・ラザレフ[桂冠指揮者兼芸術顧問]  
ピアノ:河村尚子  
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番  
ラフマニノフ:交響的舞曲

S¥10,000 A¥8,500 B¥7,500 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 横浜定期 年間会員券 (Ys:25歳以下/S席除く)

S ¥58,000 A ¥48,000 B ¥42,000 C ¥36,000  
P ¥27,000 (全9回) Ys ¥15,000

### 半期会員券

【春夏】S ¥33,000 A ¥28,000 B ¥24,000  
C ¥21,000 P ¥17,000 Ys ¥9,000  
【秋冬】S ¥34,000 A ¥29,000 B ¥25,000  
C ¥21,000 P ¥14,000 (全4回) Ys ¥9,000

### 第421回 2026年10月31日

小林研一郎との絆の証  
指揮:小林研一郎[桂冠名誉指揮者]  
オーボエ:杉原由希子[首席奏者] クラリネット:伊藤寛隆[首席奏者]  
ホルン:信末碩才[首席奏者] ファゴット:田吉佑久子[首席奏者]  
モーツァルト:ディヴェルティメント ニ長調 K.136  
モーツァルト:協奏交響曲 変ホ長調 K.297b  
ベートーヴェン:交響曲第7番

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第422回 2026年11月22日(日)

サーの称号を持つ名ピアニストが、カーチュン・ウォンと再び豪華「響」演  
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]  
ピアノ:サー・スティーヴン・ハフ  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》  
サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第423回 2026年12月19日

心震わす歓喜の歌とともに、新しい年へ  
指揮:阪 哲朗  
ソプラノ:隠岐彩夏 カウンターテナー:藤木大地  
テノール:小堀勇介 バリトン:池内 響  
合唱:東京音楽大学  
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

S¥10,000 A¥9,000 B¥7,500 C¥6,000 P合唱団 Ys¥4,000

### 第424回 2027年1月9日

カーチュン・ウォンと祝うニューイヤーコンサート!  
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]  
トランペット:児玉隼人  
ハチャトゥリアン:組曲《仮面舞踏会》  
ハイドン:トランペット協奏曲  
J.シュトラウスII世:喜歌劇《こもり》序曲  
J.シュトラウスII世:ワルツ《美しく青きドナウ》  
ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

### 第425回 2027年3月27日

ユーラシアとローマ、音楽が描く壮大な歴史絵巻  
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]  
ヴァイオリン:田野倉雅秋[ソロ・コンサートマスター]  
ボロディン:歌劇《イーゴリ公》序曲  
ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲  
ムソルグスキー(リムスキー＝コルサコフ編曲):交響詩《はげ山の一夜》  
レスピーギ:交響詩《ローマの松》

S¥9,500 A¥8,000 B¥7,000 C¥6,000 P¥5,000 Ys¥2,500

## 太田弦×牛田智大、ロマン派を極める

指揮者の太田弦は30歳の若さながら仙台フィルハーモニー管弦楽団の「指揮者」と九州交響楽団「首席指揮者」のポストを持つ逸材。尾高忠明、高関健という偉大な二人に学んだ太田は、師匠譲りの人間的な暖かさと研究者並みの深い楽譜の読み込みによって聴き手を唸らせる若きマエストロです。一方コンチェルトのソリストには牛田智大を迎えます。幼少期からファンを魅了してきた彼ですが、今や日本ピアノ界の次世代を担うトップランナーであり、それでいながら華美な演奏とは一線を画した確固たる世界観を構築するアーティストです。そのような二人とともに、今回の日本フィル横浜定期演奏会ではロマン派を代表する傑作2曲をお贈りします。

## Programs

シヨパン:

### ピアノ協奏曲第2番 へ短調 op.21 (約32分)

Frédéric CHOPIN: Concerto for Piano and Orchestra No.2 in F-minor, op.21

—— 休憩 (15分) Intermission ——

チャイコフスキー:

### 交響曲第5番 ホ短調 op.64 (約44分)

Pyotr TCHAIKOVSKY: Symphony No.5 in E-minor, op.64

指揮:太田 弦

Conductor: OHTA Gen

ピアノ:牛田智大

Piano: USHIDA Tomoharu

コンサートマスター: 扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

©ai ueda



## 指揮：太田 弦

1994年北海道札幌市出身。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を修了。

2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で2位ならびに聴衆賞を受賞。第30回渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。2025年、第23回齋藤秀雄メモリアル基金賞を歴代最年少で受賞。

指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一の各氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィ各氏などのレッスンを受講する。これまでにNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。

2021年2月、オクタヴィア・レコードよりシューベルト：交響曲第8(9)番「ザ・グレート」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「ザ・グレート」が聴衆の話題をさらった。

2024年7月には、同年4月に九州交響楽団首席指揮者就任記念コンサートとして開催した第420回定期演奏会のライブ録音のCDがオクタヴィア・レコードより発売、好評を博している。

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご希望の方は主催受付までお申し出ください。

## ●お客様へのお願い●

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

©Ariga Terasawa

ともはる  
ピアノ：牛田智大

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せてワルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年第29回出光音楽賞受賞、2024年度第51回日本ショパン協会賞受賞。

2012年、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳でユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。2015年「愛の喜び」、2016年「展覧会の絵」、2019年「ショパン・バラード第1番、24の前奏曲」、2022年「ショパン・リサイタル2022」は続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。

デビュー以降、国内外の著名指揮者やオーケストラとの共演も多く、2025年8月～9月にはアンナ・スウコフスカ＝ミゴン指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団の日本ツアー6公演でソリストを務める。その音楽性は高く評価され、これまでにプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演のほか、ワルシャワやブリュッセルでのリサイタルに招かれるなど活動の場を広げている。

ローム ミュージック ファンデーション 2023年度・2024年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。



← YouTube チャンネル

【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】  
X、Instagramでは2分バージョン配信中!



© István Kohán



## 今日のコンサートの聴きどころは？

音楽評論家八木宏之さんの

楽しい解説をお楽しみください!

14時20分  
より  
大ホール内  
にて♪

八木宏之(やぎひろゆき)●1990年東京生まれ。青山学院大学文学部史学科芸術史コース卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程(修士:音楽学)およびソルボンヌ大学音楽専門職修士課程(Master 2 Professionnel Médiation de la Musique)修了。

2021年春にWebメディア『FREUDE』を立ち上げ、その運営を行う株式会社メディアシオンを設立。クラシック音楽を中心に、プログラムノートやライナーノーツを多数執筆するほか、コンサートのプレトークなども積極的にこなしている。

## ショパン：ピアノ協奏曲第2番 へ短調 op.21

独奏ピアノと管弦楽のために書かれたフレデリック・ショパン (1810-49) の作品の中で、「協奏曲」と銘打たれたのは、ホ短調の第1番と、本日演奏するへ短調の第2番の2曲のみとなる(そもそもショパンが独奏ピアノとオーケストラのために書いた「協奏曲」編成の作品自体、これらの協奏曲を入れて僅か6曲に過ぎない)。両者ともに作曲家の20歳前後に約半年を隔てて作曲されているが、出版時期の違いから、先に成立したこの「へ短調」(1829年成立/1836年出版)が第2番、その後に書かれた「ホ短調」(1830年成立/1833年出版)が第1番となっている。

ピアノの詩人というだけあって、ショパンは作曲活動や演奏活動において、あくまでピアノを中心に置いていた。2つのピアノ協奏曲の人気も、もっぱらピアノ独奏の部分に向けられている感があり、反面オーケストレーションについてはしばしば批判的となってきた。演奏活動1つをとっても、ピアニストとしてもっぱら名を成したショパンだけのことはある(なお当時は有名な音楽家になるにあたって、ピアノ演奏だけでなく、他の楽器の演奏や指揮もできることが重要だったことを考えると、彼がそれだけで名声を築けたのはむしろ例外的だった)。

となれば、ピアノ作品の作曲に特別な創造性と感情を抱いていたショパンが、なぜわざわざオーケストラ付きの作品を作ったのか。当時、若いピアニストや作曲家にとっては、ピアノとオーケストラのための曲を作り、それを公の場で広く発信することこそが、広く世の中に自らを知らしめるにあたって、最も効果的だったからである。

いづれにしても、『ピアノ協奏曲第1番』の堅固さとは対照的に、『第2番』では自在にして優美な旋律線と甘く切ない抒情性、そして若きショパンの創意工夫が脈打っている。「協奏ソナタ形式」というきっちりとした構造を基としている第1楽章からそうで、曲の端々に至るまで哀しみと憧れに溢れている。また再現部では、第1主題を中断して第2主題につなぐといった具合に、意表をつく「掟破り」も見られる。

ゆったりとした第2楽章は、夢想的な導入部に始まるノクターン(夜の歌)。だが中間部では突然、独奏ピアノが切迫した感情を歌う。第3楽章は、ショパンも愛したポーランドの民族舞踊であるマズルカのリズムを基調としたロンドとなる。途中現れる弦楽のホル・レーニョ奏法(弦を弓の木の部分で叩く)による伴奏は、ショパンとしては異例なほど新奇なオーケストラの用い方であると同時に、奇怪さや異常さよりも田舎風ののどかさすら感じさせる点、「ピアノの詩人」と呼ばれる彼の彼たる所以だろう。

**楽器編成** 独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、バス・トロンボーン1、ティンパニ1、弦楽5部。

## チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 op.64

19世紀の後半、ロシアを中心に活躍したピョートル・チャイコフスキー(1840-93)。彼は、先達の音楽家たちがロシアの民謡や民俗舞曲などをダイレクトに扱ったのとは異なる道を歩み、西ヨーロッパにおける最新の音楽の動向にも大胆にアンテナを張りつつ、独自の様式と語法によって洗練されたロシアの民族主義を表現していった。

そんなチャイコフスキーが、西ヨーロッパにおいて演奏旅行をおこなって帰国した1888年に書いたのが、『交響曲第5番』である。なお彼をはじめとする当時の多くの音楽家は、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)を偉大な先達として仰いでおり、この『交響曲第5番』もベートーヴェンの「交響曲第5番」(通称「運命」)を意識して、闇から光へと至る音楽の旅が劇的に展開される。

ただし「闇から光へ」とはいえ、その中身がベートーヴェンのそれと随分と異なっているのもたしかだ。チャイコフスキーの場合、運命との闘争というよりは、運命に打ちひしがれるかのような動機(いわゆる「運命の動機」)が曲の冒頭に示され、それが交響曲全体を通じて執拗なまでに繰り返されてゆくからである。

チャイコフスキーは自らの体験をしばしば作品に投影させたが、彼自身、当時犯罪扱いされていた同性愛的な傾向を持っていることに度々苦しんだ。さらに時は19世紀も後半。この世紀の最初に誕生した近代市民社会の輝きの裏側で、公害や恐慌、貧富の差などの社会問題が起こる中、当の19世紀的な価値観にも疑念が呈され始めていた。

それが、冒頭の陰鬱な「運命の動機」、あるいはそれを基とした第1楽章の第1主題をなす行進曲風のメロディに他ならない。それは闘いのための行進ではなく、激しさを増す箇所があっても、様々な恨みつらみが爆発するかのようだ。

第2楽章も、ホルンに先導される儂い憧れを宿した旋律がこの楽章の軸を成しているが、それも突如現れた運命の動機の前にもろくも崩れ去る。交響曲の中に、舞踏音楽のワルツをあえて採り入れるという実験の姿勢が現れた第3楽章でさえ、吹けば飛ぶような儂さが基調となっている。そしてついに運命と戦い、決定的な勝利が訪れる第4楽章においてすら、その輝かしいコーダでは、逆にしつこいまでに勝利が念押しされてゆくという、異形の結末が訪れる。

**楽器編成** フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



## 「国民楽派」とは何か?

音楽の教科書などで知られている「国民楽派」という言葉、どうも現在では日本特有のものらしい。何しろ、この単語に近いと思しき英語圏やドイツ語圏の表現を直訳すると、「音楽的ナショナリズム」。「ナショナリズム」(「国家主義」「民族主義」の意味)となると、途端にもものしい響きになる。しかも、「楽派」という言葉から想像されるような特定のグループが存在したわけでもない。

その上で、「国民楽派」の一応の定義を書けば、いわゆる「西洋クラシック音楽の本場」と見なされていたイタリア、フランス、ドイツ「以外の」地域で見られた、音楽的な傾向である。具体的には自国の民謡や民族音楽を積極的に取り入れ、それが場合によってはその地域に根付いた人々のプライドを呼び覚まして民族独立運動を後押しするきっかけを作ったり、あるいは民族独立運動の中からこうした傾向の音楽が生み出されたりした。つまり本日の曲目の作曲者で言うと、ポーランドのショパンやロシアのチャイコフスキーということになるのだが…。

むしろ「国民楽派」は、音楽をはじめ19世紀のヨーロッパの様々な文化を席卷した「ロマン派」の一部である、と考えたほうがよさそうだ。当時は、それまで王侯貴族の支配下にあった市民階級が、政治や経済、文化において急速な台頭を果たし始めた時代である。そうした状況の下、「自分は自分であっていいのだ」という個人の意識と、それでも自分の思い通りになかなかならない世界との葛藤の中で、彼らは自らの心の中に吹き荒れる喜怒哀楽の激しい情感を代弁し、さらには昇華してくれる芸術を求めるようになる。それこそが、ロマン派に他ならない。

となれば、「個」を重んじる世界の中で誕生したロマン派は、個々の民族が大国の支配から独立を遂げ、国家を作ってゆくべきであるという、文字通り「ナショナリズム」とも密接に結びついていた。またそうした考え方の中で、ショパンにせよチャイコフスキーにせよ、彼らは何よりも「ロマン派」の音楽家として、民族色を押し出した旋律やリズムを用いつつ、自身の個性を押し出していった。



民衆を率いる自由の女神。自由を求めて立ち上がる「個」が情熱的に描かれている。ドラクロア作。1830年。

Next YOKOHAMA

## 第413回 横浜定期演奏会

2025年12月13日(土) 15:00  
横浜みなとみらいホール

指揮: 出口大地

ソプラノ: 砂田愛梨    メゾソプラノ: 山下裕賀

テノール: 石井基幾    バリトン: 高橋宏典

合唱: 東京音楽大学

ウェーバー: 歌劇《オベロン》序曲

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》二短調 op.125

S席 ¥10,000    A席 ¥9,000    B席 ¥7,500    C席 ¥6,000  
P席 合唱団    Ys席 ¥4,000

※ Ys席: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

©hiro.pberg berlin



出口大地

©Satoru Masuko



砂田愛梨

©FUKAYAuraY2



山下裕賀



石井基幾



高橋宏典

©hiro.photo

## 日本フィル 横浜アンサンブル・ワンダーランド Vol.3

JPO Brass Quintet ~横浜に輝くブラスアンサンブルの夕〜

2026年1月27日 四 19:00  
横浜みなとみらいホール 小ホール

JPO Brass Quintet

トランペット: オッタビアエーノ・クリストーフォリ、  
犬飼伸紀

ホルン: 信末碩才    トロンボーン: 伊藤雄太

チューバ: 柳生和太

【第1部】 ヴェルディ: 歌劇《ナブッコ》序曲    エヴァルト: 金管五重奏曲第2番  
ガーシュウィン: 組曲《ポーギーとベス》

【第2部】 トークイベント



チケット  
発売中!

【全席指定】※未就学児不可    ※会員: 日本フィル各種会員。みなとみらいホールのウェブフレンズ会員。

一般 3,000円    各種会員 2,500円    U18シート 1,000円

お申込み 日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10:00 ~ 17:00)

主催: 日本フィルハーモニー交響楽団    協力: 横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

もうすぐ発売!

第261回 芸劇シリーズ [2025年11/26 発売]

2026年3月8日 日 14:00 東京芸術劇場

山口敦

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者] ホルン: 信末碩才 [首席奏者]

芥川也寸志: 交響管絃楽のための音楽

R. シュトラウス: ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 op.11 TrV.117

ストラヴィンスキー: パレエ組曲《火の鳥》(1945年版)

S席 ¥8,000 A席 ¥6,500 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 Gs (70歳以上) 席 ¥5,000 Ys (25歳以下) 席 ¥2,500



井村重人

2025年12/11 発売 70周年記念特別定期演奏会 年間・春夏会員券

※P2をご覧ください



70周年特別定期会員にはさらに2つの特典!!

特典1 日本フィル新ロゴピンバッジ (非売品) をプレゼント

特典2 70周年記念特別演奏会 最優先発売 (最優先発売日: 2026年3月5日 日~3月10日 日)

2026年6月21日 日 17:00 / 22日 日 19:00 サントリーホール

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者] 他 マラー: 交響曲第8番《千人の交響曲》

2025年12/17 発売 コバケン・ワールド Vol.43-45 セット券

Vol.43 2026年4月18日(土) Vol.44 2026年9月27日(日) Vol.45 2027年3月6日(土)

◆定期会員券ご寄付のお願い◆ お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきたくしますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

10月の寄付者 匿名5名

敬称略・五十音順

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

(1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊暁雄 ●首席指揮者/カーチュン・ウォン
●桂冠名誉指揮者/小林研一郎 ●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン ●フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一
●名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

公式X (元Twitter) @Japanphil

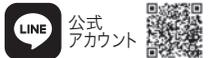


Table with columns for various roles: ソロ・コンサートマスター, ソロ・チェロ, ソロ・トランペット, 会長, 名誉顧問, 団友. Lists names and titles for each category.

◎首席奏者 ☆客演首席奏者
○副首席奏者 □試用期間

(2025年11月1日現在)